

福岡教区宣教司牧方針を受けて

2022年4月、福岡教区の「宣教司牧方針」が発表されました。教区報では、今号から「宣教司牧方針」を受け、各小教区や団体で取り組んでいること、心がけていることなどについて、具体的な活動を紹介していきます。「宣教司牧方針」は右記QRコードからご覧になれます



光丘教会

「5つのパンと2匹の魚に過ぎない努力で」

教区の3大宣教司牧方針に「未来に開かれた教会」が掲げられ、子どもたちや青少年の信仰教育に力が注がれるよう呼び掛けられています。光丘教会学校と中高生会も長年、この重要性を認識して頑張ってきました。しかし3年前に新型コロナウイルス感染が拡大し始め、今までの活動が急にできなくなりました。リーダー一同が真剣に話し合った結果、感染対策を取ったミサ前20分間のミニ教会学校、Zoom教会学校、「教会王」クイズ大会等々を試みてきました。今後は、他の小教区の子どもたちとの交流も積極的に検討しています。司牧方針に「出向いていく教会」もあります。ネパールの子どもたちに栄養のあるミルクを飲んでもらいたくて始めた教会学校のクリスマス街頭募金は、もう9年目です。教会学校のご家族や中高生の皆さん、そして、小さい頃から街頭募金を一緒に頑張った卒業生の若者たち、寒い中をお御堂の外と春日原駅前までよく頑張ってくれました！教会では、お正月にももらったお年玉をほぼ一年間使わないように我慢して、募金箱に真剣な表情で献金する子がいます。他にも自宅に専用の貯金箱を置いて、一年中コツコツ貯めている方もいます。私たちの努力は、5つのパンと2匹の魚にすぎませんが、イエス様の御手において、光丘教会の子どもたちへのお恵みに変わると信じています。



寒空の下、元気いっぱい「ネパールの子どもたちのために！」

現在、小教区から3人の若者が召命の道を歩んでいます。小教区の子どもたちの信仰生活を引き続き、お祈りをもって、行動をもって、見守りたいです。

光丘教会 杉 眉美

新年「神の母聖マリア」そして「世界平和の日」ミサ 出向いて行く教会となるように



ヨゼフ・アペイヤ司教

新しい年を迎え、カテドラル大名町教会の1月1日主日のミサ（コロナ感染防止のため、9時と11時の2回に分けて実施）には、合わせて300人ほどが集まり、共に祈りを捧げた。

この日は「神の母聖マリア」の祭日であり、また「世界平和の日」にもなっているため、毎年、教皇から平和へのメッセージが届く。9時のミサを司式したヨゼフ・アペイヤ司教は説教でまず「年の初めに、今、第一朗

読で読まれた民数記（6章22〜27）の美しい一節を、家庭や小教区で共に祈り唱えたらすばらしいです」と勧めた。次に「神の母聖マリア」に触れ、心に留めて思い巡らすことの大切さを説き、最後に「世界平和の日」に発表された教皇メッセージの「だれも一人



ミサ後ベトナムの青年たちと談笑するアペイヤ司教

めていきましよう」と導いた。また、昨年12月31日（土）に帰天された名誉教皇ベネディクト16世の悲報に触れ

アペイヤ司教 司牧訪問 大江教会 堅信式



堅信のめぐみに与って

主の降誕が迫る12月18日（日）、大江教会（主任・浦川務神父）でヨゼフ・アペイヤ司教司式のもと堅信式が行われ、小学生から高校生までの8人の受堅者が秘跡の恵みを受けた。この日は寒波の襲来で積雪があり、朝から聖堂周辺の雪の除去が、信徒の

「ベネディクト16世を教会に与えてくださったことに感謝するとともに、永遠の安息を祈りましよう」と呼びかけた。

協力のもと行われた。式中、緊張した受堅者を前にしたアペイヤ司教は「質問はしませんが」と声をかけ、その場の空気を和らげた。また、司教は堅信の秘跡について「聖霊の

恵みによって、あなたたちを大人の信仰者として生かすことができるように成長させて下さる恵みです」と説明し、力強く励ました。今回、司教は受堅者だけでなく、参列者にも信仰の内容や信仰者として生きる心構えについて問いかけた。これまでの堅信式には無かった司教の信徒への問いかけに、「改めて私たちが洗礼の約束を思い出し、新たな気持ちになることができた」と話す信徒の声があった。司教によって按手と聖香油を額に受けた受堅者の表情には、緊張と信仰者としての自覚を感じることができた。祝賀式では教会委員長をはじめ代表者の挨拶と記念品贈呈が行われた。最後に受堅者を代表し平石竜也さんが、主任司教と信徒に向け「まだまだ成長しなくてはならないので今後とも私たちを見守り励ましてください。浦川神父様少しお休みください」と、感謝の言葉で喜びのうちに式を締めくくった。行事のため、この日に秘跡を受けることができなかった受堅者がいたが、31日（土）、主任司教から秘跡の恵みを授かり、同日行った成人の祝いで、新成人と喜びを共にした。報告 川口 明

第1回 司祭生涯養成研修会

召命の原点を見つめて 鹿島・武雄教会主任 イ・ハヌン神父

日本の司教団は、教区司祭に対し、神学校卒業後も生涯に渡り司祭として養成されるよう、研修会を行うことを決定した。

第1回は、司祭叙階4年目〜7年目の司祭が対象となり、福岡教区からは、イ・ハヌン神父（韓国・テグ教区司祭）とキム・ジョングン神父（福岡教区司祭、黒崎・天神町・門司教会助任）が研修会に参加した。

教皇庁から出された「司祭養成基本綱要」に従い、1月12日（木）から19日（木）までイエスのカリタス修道女会亀川修道院（大分県別府市）にて、第1回「司祭生涯養成研修会」が行われた。研修会には司祭生涯養成部門のスタッフ（司教5人、中央協議会職員1人、修道者1人、信徒1人）と共に、日本の全教区から司祭叙階4年目から7年目までの司祭22人が集い、神学院で共に過ごした全国の司祭たちは、久しぶりの再会を喜び、互いに励まし合った。養成プログラムは、朝の祈りとミサの終了後から午前午後・夜の部となっており、最初の三日間は、司祭としてのこれまでの5年間を振り返り、神との関わり・人びとの関わり・自分自身との関わりを、福音に照らされて見直すセッションが行われた。過去を振り返る中で、多くの感謝や共に生きる喜びが思い浮かぶと同時に、人間としての過ちや失敗・挫折なども思い浮かび、トラウマがフラッシュバックすることもあった。しかし、神の前にいる自分を、祈りと共に静かに見つめる時間を過ごす中で、今までの出来事が、自分を人間としても司祭としても、さらなる成長へと導いてくれたことを再確認することができた。その時に心に響いた御言葉は、「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ（ヨハネ15章16〜17）」。



学び舎を共に過ごした仲間と豊かなめぐみに与って

福岡教区人事異動

【2023年1月10日付】 ◆杉原寛信神父（黒崎・天神町・門司教会主任） 北九州地区・地区長 就任

計報

ベトロ 宮川 俊行神父 (長崎大司教区)



2022年12月14日 天。享年90。1932年3月15日茨城県土浦市生まれ。1963年12月ローマで司祭叙階。叙階後、長崎大司教区教理委員長や要理教育問題責任者、長崎純心聖母会・浦上修道院主管者、シヨファイユの幼きイエズス修道会・大浦信愛修道院付き、長崎大司教区神学顧問などを歴任。その傍ら、福岡カトリック神学院で教鞭も執る。2016年引退。

マリア・フランシスカ

武田 とき子 修道女 (マリアの宣教師フランシスコ修道会)

1月3日 帰天。享年76。修道生活46年でした。

マルタ 浦川 アヤ子 氏

浦川務神父（崎津・大江・本渡教会主任）のご母堂が1月6日 帰天。享年97。

マリア 宮原 良子 氏

宮原良治名誉司教（佐賀教会協力）のご母堂が1月9日 帰天。享年92。

マリア 松井 テルノ 修道女

（シヨファイユの幼きイエズス修道会） 1月10日 帰天。享年82。修道生活59年でした。

ヨセフ 阿部 眞理 修道士

（聖パウロ修道会） 阿部光一修道士（聖パウロ修道会）のご令弟が1月16日 帰天。享年64。修道生活43年でした。

Advertisement for (株) ジャパン・スマイルか (Japan Smile Ka) real estate services.

Advertisement for 森山工務店 (Moriyama Kogyo) construction services.

Advertisement for メモリードポール (Memoir D'Or) funeral services.

Advertisement for 草苑 (Kusoen) funeral services.

知りたい！
福岡教区内の
修道会
宣教会⑩

福岡教区には現在 30 の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。昨春より紹介している、その修道会や宣教会。第10回は、聖パウロ修道会です。

聖パウロ修道会

425年前、日本26聖人殉教者は豊臣秀吉によって処刑の宣告を受け、長崎に向かって歩いたと伝えられています。唐津街道と言われた道路に沿って聖パウロ会の建物はあります。福岡市のほぼ中心部で新幹線、福岡空港、高速道路などの交通が便利な場所です。

聖パウロ修道会は1914年ヤコブ・アルベリオーネ神父によってイタリアで創立されました。「全世界に行って福音を述べよ」(マルコ16章15節)の言葉によって聖パウロの精神に倣い、マスコミの媒体を使って宣教することが目的です。日本では1934年2人のイタリア人司祭が来日して活動を始め、ラジオ放送、出版、カトリック新聞などによる宣教活動で注目されました。福岡教区には1950年ごろに来て、小笹で中学生志願者を受け入れ養成活動を行いました。親の繋がりが必要な時期に共同生活をし、宗教教育によって人間関係が形成されました。しかし、約40年間の活動の末、召命減少に伴い志願院は閉鎖しました。

「宣教の使命」を胸に。
赤坂「サンパウロ福岡宣教センター」



えを信じ、布教に努めました…私は何の罪も犯していません。キリストの教えを広めた理由で処刑されます。すべての人がキリストの教えを理解し、神の道を知ること切に望みます。命をかけてキリストの教えを勧めた殉教者たちに感謝します。本離れ、若者離れもあって低空飛行していますが、宣教の二文字を掲げて歩まなければなりません。

2001年に福岡修道院は福岡市内の赤坂へ移転し、養成活動ではなくマスコミによる普及に方向転換しました。サンパウロの店舗を構えて使徒職をしながら修道生活をしています。店舗での販売に合わせて九州全域の教会、学校、修道院なども巡回しています。

小笹時代に養成されて巣立った志願者が今は聖パウロ修道会の中核メンバーです。教会で最も必要とされる祈禱書、聖書、霊的本、CD、DVDを作り続けていますが、高齢化の波で若者がいない難しさがあります。日本26聖人殉教者の1人パウロ三木は群集に叫びます「私は幼い頃からキリストの教えを信じ、布教に努めました…私は何の罪も犯していません。キリストの教えを広めた理由で処刑されます。すべての人がキリストの教えを理解し、神の道を知ること切に望みます。命をかけてキリストの教えを勧めた殉教者たちに感謝します。本離れ、若者離れもあって低空飛行していますが、宣教の二文字を掲げて歩まなければなりません。」

聖パウロ修道会 小川孝志修道士

博多港から福岡市内は当然ながら舗装された道を歩くことになり黒門跡から唐人町商店街、西新商店街、姪浜商店街など町の中を歩き、生の松原付近から海沿いの道に出る。今宿付近からは糸島半島の根元を横切るように内陸部を歩き、前原を過ぎ深江あたりから再び海沿いの道になる。この付近から26聖人一行は、船で唐津市の町田川にあつた船着き場まで行き1泊した

下関から船で九州に渡った26聖人一行は、主に後に定められる唐津街道、途中、佐賀県武雄市付近からは長崎街道を通って彼の西坂を目指したと思われる。私たちもできるだけその旧街道を歩くように努めた。すでに舗装され大きな車道になっている道もあるが畑や水田、茶畑の中の道や山道もある。

『日本二十六聖人長崎への道』を歩いて

西新・26聖人と歩く会

この聖遺物を親しくされた故青木功神父から譲り受けたとのことであるが、青木神父がどのようにして手に入れたのか知らなかった。その当時から今に至るまで、謎のままである。

ところで、西新教会は26聖人の一人聖パウロ三木を保護の聖人として、1983年に今の教会が新しく献堂され、その時にパウロ三木の聖遺物を故堤要吉神父より提供いただいた。堤神父は



西新教会・聖遺物

また、この聖遺物にはパウロ三木の他、3人の方(同じく26聖人殉教者)の遺物が収められており、お名前がはっきりとアルファベットで書かれています。(ぜひ教会でご覧ください)。26聖人巡礼教会として、この聖遺物をもっと皆さんに知って頂き、お寄りいただく教会としてアピールしていければと思っています。

巡礼写真展

2019年2月1日(金)から2022年4月12日(火)まで、博多埠頭から西坂まで、約3年間春秋を中心に1日約10キロ行程で14回に分けて歩いた。その間巡り会った道、風景、教会、人たちの写真信徒会館の壁面を使わせていただいで展示することに

世界奉獻生活の日にあたって 「ネギを植えた人」

光丘教会 相良百合子

現時点の福岡教区の神学生は、吉浦勲神学生(伊万里教会)と、ヨゼフ・ヴォーターフォン神学生(ベトナム・ヴィン教区)の2人であるが、小教区で召命の道を歩んでいる青年たちもいる。2月2日「世界奉獻生活の日」にあたり、光丘教会所属の信徒で、現在サレジオン・シスターズ(青少年のために働く女子修道会)の正式志願者として、あと2年で修練期に入る青年に、自身の召命と現在の想いを聞いた。召命について考えていたとき、ふとある物語を思い出しました。それは「ネギを植えた人」という朝鮮民話で、このような内容でした。



光丘教会の青年たち(前列中央右:相良さん)

ある村では、「人が牛に見えるとき」があり、村人が牛と間違つて村人を殺してしまふことが起こっていました。ある1人の青年はこんなひどい村にいたくないと、「人が牛に見えるとき」など無い村を探し求める旅をします。探しているうちに老人になつてしまったその人は、やつとこのことで人殺しのない村を見つけます。その村で1人の女性から、ネギを育て、食べるようになってから、「人が牛に見えるとき」が無くなったと教えられました。老人は、平和なこの村に留まり

たいと思いましたが、ネギの種をもらって故郷にかえることにしました。老人は故郷の村に帰って人びとのために思い早速ネギを植えました。が、その思いは理解されず殺されてしまいました。しばらくして、老人が植え、成長したネギを食べた村人は、老人の思いやりの心に気付き、殺し合いをすることが無くなり平和に暮らすようになったということです。この物語は色々な場面を取り出してよい感想ができました。今回召命のことを思った時、なぜネギを植えたなら殺し合いが無くなるのか少しわかる気がしました。私たちは神の御国を探し求める中で、隣人を幸せにしたり、子どもたちを育てたりしていきまふ。それが、ネギを植えることだと気付きました。自分の召命は、神様と私だけのものだけでなく、人々の間にもあります。私は、あるときから修道召命を志しましたが、神様と私だけの関係を築くためにそうしたのはなかったとつくづく感じています。自分の召命を「他者への想いを考え、他者への奉仕」に向けたとき、はじめて御国を仰ぐことができると感じるので。中でも私のミッションは子どもたちと共にいることだと感じています。出会う子どもたちが他者を思いやるという私の召命をかたちづくるのを助けてくれるでしょう。

多様なカリスマをもつ奉獻生活。様々な生活形態に固有の独自性、個々の召命、及び固有の使命を明らかにし、奉獻生活の意味やその役割の重要性と、主が奉獻生活を通して成し遂げようとしている驚くべきわざについて語る。カトリック中央協議会発行 税込価格1540円



☆使徒的勧告奉獻生活 VITACONSECRATA 聖ヨハネ・パウロ二世教皇(著) 税込価格2200円



☆カトリック祈禱書 祈りの友 カルメロ・ストウツキ神父・サンパウロ編集(編) (改訂新版) ミサ次第が大きく変更されるに際し、従来の内容を全面的に見直し、今日の時代に適応した、毎日の信仰生活の支えとなるような、新しい『祈りの友』(改訂新版)を作成。祈りを提供すると同時に自分で祈るよう導き、また信仰生活において、もっとも大切な事柄について理解を深めさせる祈りの本。収録した祈りには、可能な限りルビを振るなど、国を越えた神の民が共に声を合わせて主なる神を賛美できるようにしている。 サンパウロ発行 税込価格2200円



広告掲載をご希望の方は 下記までお問い合わせください
福岡教区本部事務局 広報部
電話 : 092-522-4059
メール : cdf-kouhou@nifty.com
※この枠で1回(ひと月)5,000円の献金(目安)をお願いしております。
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
ご一緒に働いてみませんか
URL : http://www.st-mary-med.or.jp/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

サンパウロ 福岡宣教センター
営業時間: 10:00~18:00(日曜日~16:00)
定休日: 火曜日、祝祭日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

年間目標 出向いて行く教会となる

第44回ネットワークミーティング in 福岡 テーマ つながり

神さまとのつながり、人と人とのつながりを もっと深めませんか

開催日：2月11日(土)～12日(日)

場所：福岡カトリック神学院(旧聖スルピス大神学院)

ネットワークミーティングとは、「情報交換と交流」を目的に、カトリックの青年、青年の活動を支援している信徒・修道者・司祭の自由な集いです。今かかえている問題や信仰のこと等をそこで分かち合い、交流する場であるとともに、いろいろな地域の青年や活動している青年と出会い、情報交換の場として、年2回、教区持ち回りで開催されています。

第44回の開催地は福岡で、久しぶりの対面開催となります。福岡教区の青年有志がプログラム等の準備を行いました。※詳細は右記QRコード、または福岡教区ホームページからご覧ください。https://fukuoka.catholic.jp/account/



西新教会 若者とともにささげるミサ

主日の典礼によるミサ(前晩) どなたでもどうぞ

日時：毎月最終土曜日 19時

場所：カトリック西新教会

問合せ先：090-2856-6203 (イ・ジュヨップ)

一みことばのお弁当

今年度テーマ「福音の女性たちと共に」

日時：2月23日(木・祝) 10時～13時

内容：マルタ

同伴者：レナト・フィリピーニ神父

(宣教・養成委員会 信徒養成担当) ※お弁当は各自持参

場所：大濠カトリック会館

福岡市中央区大濠 1-7-14(大濠聖母幼稚園隣)

電話：080・9101・8717 (申し込み不要)



福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

福岡召命を共に祈る会 (日時) 2月21日(火) 13時30分～ロザリオ・分かち合い(場所) 大名町教会・小聖堂、1階ロビー (問合せ先) 0909214532山口

福岡召命を共に祈る会 (日時) 2月21日(火) 13時30分～ロザリオ・分かち合い(場所) 大名町教会・小聖堂、1階ロビー (問合せ先) 0909214532山口

熊本地区召命を共に祈る会 (日時) 2月20日(月) 9時50分～ロザリオ・祈願ミサ(場所) 手取教会 (問合せ先) 090969790015 藤井

編集後記

限られた紙面のため、頂いた原稿の編集は毎回本当に辛いです。お伝えしきれなかったであろう執筆者の方々の想いは、聖霊が読者の皆さまの「心」に必ず届けてくださると信じ、祈っています。(W)

案内板

会合と催し

2月のこよみ

ホームレス支援 スープの会

2月から3月の2週目までの毎週金曜日に越冬炊き出し

【調理ボランティア】

14時～ 大名町教会 1階厨房 ※豚汁とゆで卵作り

【配布ボランティア】

20時集合 大名町教会 1階講堂

【献品】

冬物の寝袋や防寒着、新品の下着・靴下、大きめのリュックサック、冬服

【問合せ】

深堀 080・1793・0481 飛永 080・4317・4152

※感染対策のため参加される方は 事前にご連絡ください。



真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：聖性への招き

日時：2月9日(木) 10時～15時

内容：福者高山右近と日本の殉教者

指導者：コデノツティ・クラウディオ神父(聖ザベリオ宣教会)

次回：3月9日(木)

内容：十字架の聖パウロ

指導者：S.ソットコルノラ神父(聖ザベリオ宣教会)

問合わせ先：真命山諸宗教対話センター

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町蜻浦 1391-7

E-mail shinmeizan@gmail.com

☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

福岡

震災のための祈りのリレー 143ヶ月目(日時) 2月11日(土) (場所) 福岡カトリック神学院・ネットワークミーティング in 福岡にて※参加不可。それぞれの場でお祈りください。

内容詳細は問合せ先にお尋ねください。感染症の状況によっては開催が中止となる場合があります。

Đôi nét về CỘNG ĐOÀN SỐNG ĐẠO FUKUOKA 福岡司教区福岡地区のベトナム人共同体 GIOAN HOÀNG ĐÌNH LINH (Viet Nam)

Fukuoka, một thành phố trẻ và năng động của đất nước Nhật Bản, từ lâu đã thu hút nhiều người Việt Nam đến sinh sống, học tập và làm việc. Trong đó có người Công Giáo.

Khoảng 10 năm về trước, số người Công giáo Việt Nam chưa nhiều, và chưa có linh mục Việt Nam để chuyên lo cho người Việt, vì thế mọi người chỉ có thể tham dự thánh lễ tiếng Nhật.

Từ năm 2016, Cha Phêrô Phan Ngô Xuân Thoại và quý Sr Dòng Mến Thánh Giá Nha Trang, đã quy tụ anh chị em cùng nhau cử thánh lễ tiếng Việt tại nhà thờ Yosuidori.

Đến năm 2021, để tiếp tục nuôi dưỡng đời sống đức tin và xây dựng Hội Thánh Chúa. Đức Cha Josep Maria - Giám Mục giáo phận đã tạo điều kiện, để người Việt Nam dâng thánh lễ tiếng Việt tại nhà thờ chính tòa Daimyo. Ngày 08/ 08/ 2021 cộng đoàn Việt Nam chính thức dâng thánh lễ tiếng Việt đầu tiên tại nhà thờ Daimyo.

Sau thời gian dài làm việc tại Fukuoka, Cha Phêrô nhận sứ vụ mới. Đức Cha giáo phận đặt Cha Gioan Baotixita Phạm Văn Thuyền tiếp tục phụ trách công việc mục vụ cho người công giáo Việt Nam tại Fukuoka.

Hiện nay, Cộng Đoàn Sống Đạo Fukuoka đang dần ổn định về nhân sự, các ban đã được hình thành: ban phụng vụ, ban giúp việc, ban truyền thông, ban sinh hoạt, ban tiếp tân..... Đại diện cộng đoàn là anh Giuse Nguyễn Văn Bình.

-Bốn mạng cộng đoàn: Thánh Giáo Hoàng Gioan Phalo II.

-Ngày lễ bốn mạng: 22/10.

-Châm ngôn sống: HIỆP NHẤT - TIN YÊU - PHỤC VỤ.

-Lịch lễ: Chúa Nhật tuần 2 và tuần 4 hàng tháng. Lúc 14h00- 15h00.

Bên cạnh đó, Cộng Đoàn có mở lớp giáo lý hôn nhân, giáo lý dự tòng, cho những ai muốn tìm hiểu về giáo lý của Hội Thánh, muốn gia nhập Hội Thánh; và bước vào đời sống hôn nhân.

Ngoài ra, Cộng Đoàn cũng tổ chức các hoạt động ngoại khóa khác như: dã ngoại hè, lớp học tiếng Nhật, nhóm đọc kinh online mỗi tối... Trong tương lai, Cộng Đoàn mong muốn tổ chức thêm các hoạt động bổ ích nhằm HIỆP NHẤT - TIN YÊU - PHỤC VỤ.

Cộng Đoàn chúng con kính xin Đức Cha, Quý Cha, Quý tu sĩ nam nữ và toàn thể Quý ông bà anh chị em tiếp tục nâng đỡ, và đồng hành với chúng con.

ベトナム人にとって福岡は、生活、学び、働く場として魅力的な都市です。10年前まではベトナム人信者の数は少なく、ベトナム人司祭もいなかったため日本語のミサに出席していません。2016年から、ピーター神父とニャチャン教区の「愛の十字架修道会」のシスターたちは、浄水通教会でベトナム語ミサを祝うために集いを始めました。そして、アペイヤ司教様は、ベトナム語でミサができるよう準備を整えてくださり、2021年8月8日大名町教会で、初めて正式にベトナム語のミサが行われました。また司教様は、ピンセンシオ会長のファム・バン・チュエン神父 (Pham Van Thuyen) を福岡におけるベトナム人共同体の司牧活動の責任者に任命されました。現在、共同体の人数は安定しており、典礼委員、ミサ奉仕委員、通信委員、諸活動委員、受付委員が運営を行なっています。委員長は ヴィン (Joseph Nguyen Van Binh) 氏です。



福岡地区共同体の皆さん

- 共同体の保護の聖人：聖ヨハネ・パウロ二世教皇
- 保護者の祝日：10月22日
- 共同体のモットー：団結・信仰・奉仕（一致・真の愛、奉仕）
- ミサの時間：毎月第2および第4日曜日 14:00～15:00。

共同体では、結婚のための勉強会や洗礼のためのカテキズムの実施、交流会、日本語クラス、オンラインでの毎晩の祈禱会などの活動を行っています。将来的には、共同体のモットーのためにより有益な活動を考えています。

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

電話 080-2694-4182

受付時間 月～金(祝日を除く)

10:00～12:00 13:00～16:00

私たちと一緒に おはなしませんか? 安心してお話が出来る人をお探しの方へ。 メール: hanahanahimawari2020@gmail.com ☎: 080-4735-6971 (9:00-21:00) ※対応できないときもあります。 ※原則1回30分です。 LINE 右記 QRコード 一ぶろじえくとHana 一ぶろじえくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している。礼拝会を中心としたグループです。